

下関市立市民病院



所在 〒750-8520 山口県下関市向洋町1-13-1

下関医療圏の中心的役割を担い、「安心の優しい医療を提供し、市民から信頼される病院を目指します」の基本理念のもと、地域から信頼される中核病院の役割を果たしています。悪性疾患、救急医療、生活習慣病の診療を重点項目に掲げ、感染対策にも注力。地域の医療機関と連携を図り、多様なニーズに対応できる医療機能の充実も強化しています。

募集人数 **5名**

(令和7年度 採用予定人数)

病床数 **382床**

待遇

給与1年目：530,000円/月 程度

給与2年目：560,000円/月 程度

(1年目、2年目、当直手当含む)
※時間外手当及び賞与は別途支給



研修プログラムの特徴

必修科の内科24週、外科、小児科、産婦人科、精神科をそれぞれ4週、救急科12週(うち4週は麻酔科で研修、研修期間内の当直回数含む)、麻酔科を8週研修。地域医療は2年次に4週研修、残りの期間は選択科とし、研修医の希望も入れた研修計画を研修管理委員会で決定します。一般外来は内科・外科・地域医療の研修中に並行して研修を行います。救急当番日は副当直として月4回程度診察に従事します。

研修スケジュール例

1年目	内 24週	麻 8週	外 4週	小 4週	産 4週	精 4週	救 4週
	内…内科、麻…麻酔科、外…外科、小…小児科、産…産婦人科、精…精神科、救…救急科						
2年目	地 4週	1年次で修了しなかった必修科を行い、残りは選択科として自由に選ぶことができます。					
	地…地域医療						

関連病院

- ・ 下関市立豊田中央病院
- ・ 済生会下関総合病院
- ・ 下関病院
- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 山口赤十字病院
- ・ 済生会豊浦病院
- ・ 宇部協立病院

主な勉強会

救急に関する早朝講義
(4月～5月下旬くらいまで)、
CPC(年2回)、BLS(年1回)、
ACLS(年1回)

プログラム
責任者

[リウマチ膠原病内科]

大田 俊一郎 医師



当院の自慢は?

化学療法センター、透析センターを併設し多様なニーズに対応しています。また緩和ケア病棟では終末期医療を学ぶことができます。呼吸器腫瘍センター、脊椎・脊髄病センター、リウマチ・関節センターなどでは、診療科の垣根を越え総合的・専門的な診療を行っています。



研修内容のセールスポイント

少人数での指導で多くの手技・処置を経験できます。麻酔科研修、BLS・ACLSを修得することで、救急蘇生術を身につけます。また、研修医の希望を取り入れた勉強会を行っています。



どんな指導を心がけていますか?

問診・診察・診断・治療における一連の論理的な思考はもちろんのこと、各検査の意図、結果の解釈など細かく指導を行います。また、医療技術だけではなく、医師として患者に向き合う姿勢など全人的に指導しています。



医学生へのメッセージ

まずは病院見学においてください。百聞は一見にしかず。当院の良さを分かっていたらと思います。

研修医

研修2年目[九州大学出身]

野村 知哉 医師



研修先病院として選んだ理由は? 医師のスタートである初期研修期間に、Common diseaseから比較的レアな疾患まで幅広い疾患が経験できる病院で研修することが、今後の自身の診療に活かせると感じたからです。また、2年目ローテーションの自由選択期間が長いことも選んだ理由の1つです。



この病院を選んでもよかったことは? 先生方や医療スタッフが研修医のことを気にかけてくれて、コミュニケーションをしっかりと取ってくれることです。一番深く関わるのは指導医の先生方ですが、それ以外のスタッフも声をかけてもらえたり、質問に丁寧に答えてくれたりします。



研修で最も身についたことは? 患者さんの訴えを、時間をかけてじっくりと話を聴くことです。何か訴えがある時に、主訴と時系列での状態の変化をじっくり聴くことは研修医の時にこそ行うべきだと思っています。上級医の先生方が外来やカテーテル、内視鏡などの処置で対応できないときは患者さんのところへ最初に足を運ぶことが大切です。



医学生へのメッセージ 中規模の病院なので医療スタッフにも、自分の顔を覚えてもらいやすいため、気にかけてもらえ、相談もしやすいです。時に忙しい研修の中で、経験を積み臨床経験を振り返り、知識を身につけるメリハリのある研修ができると思っています。ぜひ一度、病院見学に来られてください。

お問い合わせ先

- 担当部署：事務部 ● 担当者：濱崎・谷口 ● 電話：083-224-3850
- Eメール：kengaku@shimonosekicity-hosp.jp